**犬山城 神木大杉様**

この神木は、犬山城を落雷から守るために犠牲になったと考えられています。かつては天守よりも高かった。しかし、1965年頃に枯れてしまった。木を伐採する代わりに、コミュニティのメンバーはそれを保存し、城の保護者としてそれを祀った。わらのロープと白紙の装飾は、日本の古い宗教である神道の象徴であり、神の存在を意味します。また幹には、毎年6月に中国由来の花（のうぜんかずら）が咲きます。